

講義名	流通概論			授業形態	
担当教員	新 雅史	開講期・曜日・時限	後期 木曜日 4 時限		
		単位数	2	履修開始年次	1 年生
				ナンバリング	

主題と概要				
【対面授業・オンライン共通】 当科目は、全学必修科目である「流通科学入門」と一体となった講義です。「流通科学入門」において流通・マーケティングの問題に気づいていただき、それを学部専門科目においてどのように深く学ぶことが出来るのか、その機運となるのが本講義です。 身近な事例を深く知ることを通じて、流通・マーケティングに関する事象や課題について理解するための基礎的概念を学びます。当科目を履修して流通・マーケティングに対する関心を高めた受講者が、さらに高度な知識や分析能力を身につける専門課程の各科目を学ぶための基礎づくりとなります。				
到達目標				
【対面授業・オンライン共通】 流通・マーケティング論に関する基礎的な専門用語の理解を身につける。				
提出課題				
【対面授業・オンライン共通】 中間試験と期末試験を実施します。				
課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバックの方法				
【対面授業・オンライン共通】 通常授業では、課題などは課しませんが、理解を深めることを目的として、中間試験後に試験の解説を行います。				
評価の基準				
【対面授業・オンライン共通】 中間試験 50% 期末試験 50%				
履修にあたっての注意・助言他				
【対面授業・オンライン共通】 当科目は、「流通科学入門」と一体となった講義です。したがって、すでに「流通科学入門」を履修する（もしくは、この二つの講義を同期に受講する）ことが前提となった講義内容であることを留意ください。 履修登録自体は、「流通科学入門」を修得していなくても可能です。				
教科書				
.使用しない。				
参考図書				

その他		
【対面授業・オンライン共通】 毎回の講義において、事前に読むべき資料があります（「流通科学入門」と同じ資料です）。各自でダウンロードし、予習したうえで講義に臨んでください。		
授業計画		
1. 目の前に広がる流通の世界 2. 商店街と大型店 3. コンビニとドラッグ・ストア 4. 小売業で活躍する人材 5. 店頭での顧客との価値共創 6. 業店舗とバーチャル店舗 7. 中間試験 8. ブランド 9. 流通とマーケティング 10. ITの発展と流通・マーケティング 11. インターネットのコミュニティ 12. グローバルとローカル 13. ソーシャル・マーケティング 14. まちづくりと商業 15. まちを歩いてみよう		
授業形態（アクティブ・ラーニング）		
ア：PBL（課題解決型学習）		イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）
ウ：ディスカッション、ディベート		エ：グループワーク
オ：プレゼンテーション		カ：実習、フィールドワーク
キ：その他（A L 型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合）		
準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間		
【対面授業・オンライン共通】 * 各回の講義資料「のぞいてみよう流通の世界」の予習 : 各2時間 * 各回の講義内容の復習 : 各2時間 * 中間レポートの作成 : 4時間 * 期末レポートの準備 : 4時間30分		
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連		
【対面授業・オンライン共通】 本講義は、特に本学ディプロマポリシーにある「論理的思考力を持った人材育成」に資することを念頭において講義を構成している。		
双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述		
実務経験の有無及び活用		
備考		
新型コロナウイルス感染症、あるいは授業の状況によりシラバス修正の可能性あります。		